



(2020. 5. 11)発行

学校法人 帯広葵学園

いま、子どもたちに伝えたい事

所長 外館 昭良

すっかり春らしい気候になりましたね。皆さんお元気ですか？ とても残念なことに『緊急事態宣言』が延長され家の中で自粛を余儀なくされている事とご推察申し上げます。また、日頃より当保育所の教育・保育活動にご理解ご協力頂き感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが原因でお亡くなりになられた方が国内で 570 名以上もいらっしゃるという、まさに緊急事態です。命を守るため、そして早期終息を実現させるために、今はじっと我慢することが最大の防御だと感じています。

こんな時だからこそ、子ども達に伝えたいことがあると思います。

はじめに『命』の大切さです。世界に一つしかない命、一度失ってしまったら2度と取り返しが効かない命、周りにいる人たちみんなが悲しみに暮れる事。その掛け替えのない命を守るために、今はみんなで力を合わせる事がとても大切です。

次に、みんなを守ってくれている人達がいる事。もしかすると、自分も感染してしまうかもしれないと恐怖心を抱きながらも、一人でも多くの方が元気に回復できることを願って、日々治療や看護にあたってくれている人がいる事や、自分たちが社会の中で生きていくうえで、様々な役割の方々助けられている事を知り、感謝する事。

最後に、今自分がすべきことは何か？を考えることも大切です。

ぜひ、緊急事態だからこそ各ご家庭でお子様と一度話し合ってみてはいかがでしょうか。皆様におかれましても、ご自愛のほどお祈り申し上げます。そして、皆様のご健康と、何よりも感染症の早期終息を心より願っています。

